

平成 29 年度 施策評価表

□

| | | | | |
|-------|--|---------|---------|-------|
| 施策 | 0203 | 教育環境の充実 | 施策推進担当部 | 教育委員会 |
| 施策の方針 | 学校施設の充実や中学校給食の完全実施に取り組むとともに、児童生徒の心のケア体制を図る。また、高等教育の充実や大学誘致を推進する。 | | | |

【DO（実施）】

基本計画における目標値

| 指標名 | 単位 | 基準値 (H26) | H28目標値 | H29目標値 | H30目標値 | H31目標値 | H32目標値 | H28年度 | |
|----------------|----|--------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | | H28実績値 | H29実績値 | H30実績値 | H31実績値 | H32実績値 | 達成率 | 進捗率 |
| ① 中学校完全給食の実施校数 | 校 | — | 1 1.0 | 2 | 6 | 6 | 6 | 100.0% | 16.7% |
| ② 大学（研究室）等の誘致数 | 学部 | 1 | 1 1.0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 100.0% | 50.0% |
| ③ | | | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | | | |

施策達成状況の説明

中学校給食について、平成30年度中に全中学校で完全給食を実施する予定であるが、小学校給食センターの余裕能力を活用して平成29年1月から萱瀬中学校において完全給食を先行実施したことにより、平成28年度の目標値を達成した。
 大学（研究室）等の誘致については、平成21年4月に活水女子大学看護学部「大村キャンパス」が開設された。近年、大学運営を取り巻く環境が厳しくなる中、本市の特性や時代のニーズ等に合った大学等の誘致を目指し、調査、研究を行っている。

施策経費

| (単位:千円) | | H28年度 決算 | H29年度 予算 | H30年度 見込 | 特記事項 |
|---------|-------|-------------|-------------|-------------|------|
| 内訳 | 事業費 | 512,700 | 578,773 | 443,860 | |
| | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 県支出金 | 3,505 | 0 | 0 | |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他 | 8,848 | 91,332 | 852 | |
| | 一般財源 | 500,347 | 487,441 | 443,008 | |
| | 人件費 | 67,506 | 60,865 | - | |
| | フルコスト | 580,206 | 639,638 | - | |

施策の概要

| | | |
|--------|----------------|---|
| 020301 | 学校施設・設備の充実 | 児童生徒が安全で安心して学べる環境づくりを目指し、老朽化した学校施設やグラウンドの改修などを計画的に進めます。 また、効果的な授業が実践できるよう、ICT機器等を計画的に整備します。 |
| 020302 | 学校給食の充実 | 小学校給食センターの適切な運営を行い、安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、食育を推進します。 また、成長期にある中学生に栄養バランスのとれた給食を提供するため、中学校給食の早期完全実施を目指します。 |
| 020303 | 児童生徒の心のケア体制の充実 | 児童生徒の悩みの解消や不登校、いじめへの対応を図るため、教育相談員やスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員の配置など、カウンセリング機能を充実させるとともに、関係機関と連携しいじめ防止対策を強化します。 また、小・中学校の教職員が連携し、中1ギャップ※1の解消に努めます。 |
| 020304 | 高等教育の充実や大学等の誘致 | 優秀な人材を育成するため、高校の教育内容や施設の充実、時代のニーズに対応した学科の新設などについて要望を行います。 また、企業や試験研究機関の集積、利便性の高い高速交通体系など、地域の特性を活かして、大学等の誘致を目指します。 |
| | | |

【CHECK（評価）】

| | |
|------------------------------|---|
| 施策を達成 する上での 問題点・課 題 | 中学校給食実施に伴い、学校現場において新たに発生する給食費徴収事務及び配膳業務の担い手の確保。 |
|------------------------------|---|

【ACTION（改善・改革）】

| | |
|--|--|
| 問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方 | 新たに発生する給食費徴収事務及び配膳業務の人員配置等について、学校との協議及び調整が必要となる。 |
|--|--|

平成30年度新規事業

| 事業名（仮称） | 担当課 | H30年度見込 | |
|---------------|-------|---------|--|
| | | 事業費 | 対象・事業概要など |
| 1 小学校施設環境改善事業 | 教育総務課 | 4,420 | 各小学校に洋式トイレを設置し、児童が快適に学べる学習環境を整備し、学力の向上につなげる。また、大村小学校にエレベータを設置し、肢体不自由児に対する教育環境の充実を図る。 |
| 2 中学校施設環境改善事業 | 教育総務課 | 4,746 | 各中学校にエアコン及び洋式トイレを設置し、生徒が快適に学べる学習環境を整備し、学力の向上につなげる。 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| | | 9,166 | |

【評価調整委員会意見】

| | | |
|--|--------|--|
| 2 | 見直しが必要 | |
| <<特記事項>> 施策の概要「児童生徒の心のケア体制の充実」に関連する「心の教室相談員配置事業」について、下記の意見を付す。 事業の実施を認めるが下記の条件を付す。 ・相談員に再任用職員等を活用できないか検討すること。 ・不登校対策の考え方を整理すること。 | | |

【最終評価（都市経営戦略会議）】

| | | |
|----------|---------------|--|
| 1 | 評価調整委員会意見のとおり | |
| <<特記事項>> | | |